

トルコ語専攻

本トルコ語専攻では、トルコ共和国の言語・文化や社会に強い関心を抱き、トルコ共和国の公用語であるトルコ語の習得への強い意欲を持ち、高い目標を実現すべく努力を怠らない人を望みます。また将来的にトルコ語を用いてトルコ系諸国の言語や文化、さらには社会について深く学びたい人、さらには自らの考えや思いをトルコ語で発信したいと思う人を求めます。



世界遺産「スルタンアフメト・モスク」

ボスポラス海峡をはさんで、アジアとヨーロッパの両大陸にまたがる国トルコは、日本の2倍強の国土を有し、そこにはおよそ7500万人の人々が住んでいます。

トルコ共和国の公用語であるトルコ語とはどんな言葉なのでしょうか。トルコ語は、いろいろな意味で英語とは違うところの多い言葉です。そのためか、ヨーロッパなどでは、トルコ語は難しいと言われることがあります。では、私たちにとってはどうでしょうか。もちろん外国語ですから簡単なわけではないのですが、それほど難しくはないと言ってもいいでしょう。発音は取っつきにくい点もありますが、比較的早い時期に慣れることができるでしょう。単語の語形変化も規則的で、何ページもある不規則動詞の活用表の暗記に苦しむ、ということはありません。そして、何とていうのもうれしいのが語順です。トルコ語の基本語順は、主語－目的語－述語の順番で、日本語と同じです。前置詞や関係詞などはなく、日本語の助詞のようなもので文法関係を表します。また、文字がローマ字であることも、学習しやすい点のひとつです。

トルコ語は、系統的には、中央アジアで話されているウズベク語やウイグル語やカザフ語、シベリアで話されているヤクート語などと親戚関係にあります。

授業科目を簡単に紹介しておきますと、1・2年生ではトルコ語実習が中心となります。3・4年生では、上級トルコ語、トルコ語文法研究、トルコ文学、トルコ民族史などをはじめとする専門的な授業が組まれています。

社会人となる前に、私たちの専攻で、青春のエネルギーをぶつけて自己形成に挑戦してみませんか。



パジャパー (カッパドキア)

「メルハバ」

Merhaba

学生の声



4年 清谷 遼太郎

アジアとヨーロッパの狭間に位置し、様々な文化が融合した国、日本との関係を題材にした映画が製作されるなど親日として知られている国、それが僕たちの学んでいるトルコです。

トルコ語とはどのような言語なのでしょう。「文字は複雑なの?」「一から学ぶのは難しそう…」こんなイメージをお持ちの皆さん、ご安心ください!トルコ語は我々日本人にとって、とても学びやすい言語の一つなんです!現在のトルコ語ではアルファベットが用いられており、しかも、語順や助詞など日本語との共通点もたくさんあるんです!

トルコ語専攻は一クラス、かつ少人数で編成されているので先生との距離がとても近く、いつでも質問ができる環境です。クラスの間みなとも毎日楽しく過ごしています。最高の仲間が作れること間違いなしです!

何でトルコ語を学んでいるの?——どこに行っても必ず聞かれる質問です。確かに、将来に活かせる場面は少ないかもしれませんが、でも、想像してみてください。誰も知らない言語を自在に操る自分ってかっこよくありませんか?せっかくの大学生活、今しかできないことに挑戦するチャンスです!

ケバブ、ブルーモスク、イスラーム…トルコを彷彿とさせるものは色々ありますが、実際のトルコはもっと奥が深く、この場では語り尽くせません。魅力たっぷりの素敵な国、トルコで話されている言語と一緒に学びませんか?皆さんとお会いできる日を楽しみにしています!



留学体験記



4年 末松 檀

トルコといえば何を思い浮かべるでしょうか。私はやはりボスポラス海峡から見渡せるイスタンブールの美しい街並みです。イスタンブールはヨーロッパ大陸とアジア大陸両方に位置し、船で海峡を移動する際に見渡せるその景色は、歴史の空気を色濃く感じることができました。

私は3年生の夏から9カ月間イスタンブールのヨーロッパ側にあるボアジチ大学へ留学しました。ボスポラス海峡を眼下に望む素晴らしい場所にあり、旧市街や新市街からは少し離れた落ち着いた環境でした。近年トルコではテロやクーデターがあったこともあり、留学直前まで親と何度も話し合い、留学を決意しました。

ボアジチ大学では主に外国人留学生向けのトルコ語の授業や翻訳学部の授業を取っていました。日本語を学ぶ学生も多く、彼らとの交流は今も続いており、非常に価値あるものでした。天気の良い日にはキャンパスの芝生で勉強したり、おしゃべりをしたりと、日本で報道されているようなトルコからは想像できないほどゆったりとした時間を過ごすことができました。

現地学生との交流や、異文化の中でどっぷりと浸かった経験は、私にとって非常に貴重なものとなりました。さらにこのような新鮮な環境に身を置きその場に馴染んでいくことで、語学力向上はもちろんのこと、今後出てくる新たな環境にも飛び込める自信が身についた留学となりました。

